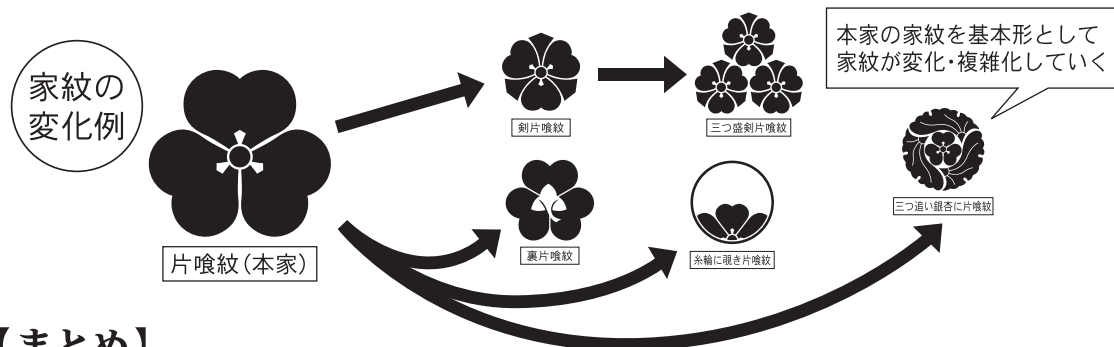


それで家紋の文様を決めるときには、好き勝手に決めるのではなく、お互いのつながりを示すことに配慮がなされました。

家紋を備えることになった庶民は、自分たちの主君、主筋の家紋を基本にしました。主君が誰かがわかるようにしつつ、少し変化させていきました。

例えば、主君の家紋が桜なら、自分は、二枚桜、三枚桜にするといった具合です。家紋は、シンプルから、やや複雑形に枝分かれしていったわけです。



四、【まとめ】

以上の二つのヒントから、かなりルーツはしぼれるはずですよ。

祖先がもともとどここの地方から出てきたのかを、年配の身内の方に聞いてみてください。そしてその地域に行ってみてください。

問題は地名が合併などで変わってしまっていることが結構あるということですね。苗字も家紋も、明治の初期の地名や人間関係が前提になってることが多いですから、その頃の地名を探る必要があります。

自分の苗字と同じ地名の地域で、且、自分の家紋と同じ流れで、シンプルなものがお墓等に集中している場所があれば、そこが我が家の源ということになりますね。



和想館のラジオ番組

ラジオ山陰放送 …… 第二・第四木曜 AM 10:10頃～
「ご近所わいど 今日もハレルヤ」内

桑本DJと和想館池田が生放送でお届けする
「和想館のあなたの願い叶えましょう」のコーナー放送中。
着物にまつわる質問どんどんお寄せください。

FAX: 0859-35-0242 MAIL: gokinjo@bss.jp 「あなたの願い叶えましょう」コーナー宛

F M 山陰 …… 第二・第四月曜 PM 6:30頃～ 「ガッツdaレディオ！」内

「エンジェル池田のハートにプラス!!」のコーナー放送開始。満面笑顔の若手DJ南さやかと和想館池田が、着物や和の心に関するさまざまなよもやま話をハイテンションでお届けしてます!!

